

杉山ゼミの研究紹介

私たちは神奈川県立大学人間科学部の杉山ゼミ10期生です。今回は私たちの活動についてお話しします。杉山ゼミでは「心理学」にまつわることであれば何でも自分たちで研究できる、そんなゼミです。そのため学生たちの自主性が大切になってきます。ゼミ生たちでやりたいことを話して活動する内容を決めたり、ゼミ生それぞれが自分の好きなテーマを設定して研究したり、みんなのびのびとやりたいことができるのが杉山ゼミの魅力です。

まず杉山ゼミでは、心理検査や心理療法として扱われる「風景構成法」や「箱庭療法」を、実際に体験しました。

風景構成法とは、投影法による心理検査のひとつです。投影法とは、あいまいな刺激素材に対して被験者に自由に反応してもらい、その結果を分析・解釈することでパーソナリティを測定することができ、実験者から指示をされたものを紙に描いてい

くという単純な作業です。全員が同じ指示を受けたにも関わらず、ゼミ生たちの描いた絵はまさに十人十色。ゼミ生の人となりが見えてきた、そんな活動でした。



そして箱庭療法も体験しました。箱庭療法とは、砂の入った箱の中にミニチュア玩具を置き、また砂自体を使って自由に何かを表現し、遊ぶことを通して行う心理療法です。自分の内側にある気持ちを表現し外側に出すことで、自分自身の気持ちいような内面と対話することができ、様々な気持ちを表現できます。「箱庭」自体を知っている方は多いと思いますが、ゼミ生たちは箱庭初体験だったため、童心に返ったような気持ちで楽しく体験することができました。



人間科学部 人間科学科 2年 佐藤 優衣



次に、杉山先生が執筆した図書を使って心理学に対する理解を深める活動をしました。10期生が選んだのは『読むだけで、人付き合いが上手くなる。』という図書です。初対面の人とうまく会話をするには…などと、人間関係に対しての悩みを一度は感じたことがあるのではないだろうか。そんな悩みに対し、心理学的にどのようにコミュニケーションをとれば良いのか、全てこちらの本に書かれています。人付き合いに對する苦手意識がある方も、そうでない方も、図書に書かれている多くのシチュエーションに「あるよねこういう時。」と共感すること間違いなしです。そして何より、書かれているどの対処法も分かりやすく、誰にでも読みやすい一冊でした。心理学という難しい印象があるかもしれませんが、実は日常生活のいたるところに関わっているものなのですね。興味がある方はぜひお手にとつて見てください。杉山ゼミ10期生からおススメさせていただきます。

次にキャリアワークについて理解を深める活動をしました。数年後には就職を控えている10期生は、将来のことも視野に入れて生活していることと思います。自分には何が向いているのだろうか、どんなことを仕事にしたら良いのだろうか、と悩める時期です。このキャリアワークでは、まず自分の潜在的認知を明らかにすることから始めました。自分が仕事をするとき、どんなことを重要視するのかを導き出してから、自分に向いている働き方を見つけていきます。はじめから、どんな仕事に就きたいかを考えるのではなく、自分自身のことをよく理解すること、これが大切なのです。

続いて、それぞれ興味がある研究テーマを決め、プレゼンテーションを行いました。杉山ゼミ10期生の研究テーマは以下のとおりです。

「杉ゼミ10期生研究テーマ」

- ・恋愛における嫉妬
- ・加害者の心理
- ・消費者心理
- ・消費者心理と広告デザイン
- ・営業の仕事
- ・手書きツイート
- ・ブルースト現象
- ・ストレス
- ・自傷行為の心理
- ・無気力に起因する不登校についての考察
- ・色の印象操作
- ・印象形成とどんな人が好かれるのか
- ・感動について
- ・自尊心の低さが対人関係に及ぼす影響
- ・出生順位が性格にどのように影響するか



社会問題に関係ある内容や、消費者や営業について、パーソナリティについてなど、みなさん様々な研究をしたようです。徹底的に文献などを調べあげた人や、自分で調査をしてまとめた人など、研究の仕方も様々でどのプレゼンテーションもとても興味深い発表でした。これからの活動でさらに視野を広げ、より深く研究していきたいと思います。



箱根で行われた夏合宿の集合写真

様々な研究ができる杉山ゼミは、仲間と共に自分自身も成長できる大切な場所です。これからも10期生の仲間たちと一緒にイキイキと活動していきます。